

誇れるビールを目指して

初挑戦で世界一



大山Gビール醸造責任者の岩田秀樹さん
伯耆町丸山の久米桜麦酒場でビール製造を手掛けている。

ビールの世界大会「ワールド ビア アワード2011」(WBA)において、大山Gビールの「ヴァイツェン」が、Grain-only Wheat Beer部門において、世界一を受賞しました。

WBAは、イギリスで年1回開催されるビールの世界大会で、ヨーロッパ・アメリカ・アジア予選を勝ち残ったビールの中から、部門ごとに世界一を決定する世界大会。大山Gビール醸造責任者の岩田秀樹さんに、受賞の喜びを伺いました。

予想以上の注文数

結果発表は、世界同時にホームページで行われました。ホームページに大山Gビール「ヴァイツェン」の文字を見つけたときは「オー」と声を張り上げ、周りにいたスタッフと握手をしました。でも、アジア予選に出品したのは、6月だったため周りのスタッフは、出品したことをすっかり忘れていました。また、限定ビールの「八郷」と「ウィートワイン」が、それぞれの部門でアジア1位をいただきました。ヴァイツェンの栄光に隠れてしまいましたが、アジア1位に選ばれることでも、実はすごいことなのです。

数日がたち新聞などのメディアに取り上げられてからは、問い合わせや注文を数多くいただきました。予想以上の注文をいただき、ヴァイツェンの注文受付をストップするほどでした。

八郷・大山を世界へ

今までも、賞レースには何度か挑戦してきましたが、それは全ての審査が日本国内で行われるものでした。ビールは、長時間の移動などにより質が落ちてしまうため、今まで海外挑戦はしてきませんでした。しかし、国内の賞レースも2006年以降は出品していませんでした。

今回のWBAも、始めは出品する予定はありませんでした。世界大会ですから、申請書は全て英語。取つき難い印象がありました。しかし、丸山で15年間造ってきたビールが「世界でどんな評価がされるの

か」「今まで造ってきたビールに間違いはなかったのか」知りたくなくなり、応募締切日に出品を決めました。今回受賞したことで、「大山」「八郷」という地名を世界中に宣伝できたことは、とてもうれしく思います。

ヴァイツェンとは

大山Gビールのヴァイツェンは、バナナを思わせるフルーティーな香りが特徴の口当たりが良いビールです。ヴァイツェンとは、ドイツのバイエル

ン地方を中心に昔から飲まれていた伝統的な小麦ビールで、世界中で愛飲されています。また日本にある地ビール会社のほとんどが製造している、とてもポピュラーなビールです。今回受賞した「Grain only Wheat Beer」部門は、言い換えるとヴァイツェン部門。そのヴァイツェン部門で地元のヨーロッパを破つての1位は、とても光栄です。

ビールで季節感を

2006年以降、原料作りにも力を入れています。今回アジア1位を

受賞した限定ビール「八郷」も、地元のお米を使ったものです。米、麦、ホップなどの原料を地元で栽培し、限定ビールとして提供しています。今後も原料の質を上げ、ビールで季節感を表現できたらと思っています。今回の受賞は、みなさんに愛され、愛飲され続けたことにより導いてもらったと感じています。今後も地元で原料を栽培し、伯耆町を代表できる、誇れるビールを目指して精進していきたいと思っています。



- ① 世界一受賞により、届いた盾
- ② 世界一に輝いたヴァイツェン (ピアホフガンパリアウスにて)
- ③ 地元住民と麦まきを行う岩田さん
- ④ 伯耆町丸山にあるピアホフガンパリアウス。地ビールを楽しめるほか、醸造所を併設している。